

ニチエスの歴史は、1935年大阪府堺市に創業された三宝伸銅工業株式会社から始まりました。第二次大戦後、銅、真鍮素材のリーディングカンパニーとして発展する中、未来を切り開く新しい金属アルミニウム素材の製造を開始。そこから生まれたのが、日本初のアルミフレームの屋外ファニチャーでした。アメリカのアウトドア・レジャーにインスパイアされた創業者・久野晴雄の思いを託して作られた渾身の作。ファニチャーというカテゴリーを超えて、高度成長期の熱狂の渦の中、

日本人のレジャーの在り方に一石を投じるものでした。もちろん、コンセプトが出色だただけではありません。考えつくされたデザイン、屋外に適した耐久性、子どもにも持ち運べる軽さと機能。ファニチャーそのものも、実に画期的な



ものでした。60年にわたりモデルチェンジすることなく今でもラインナップされていることが、当時の斬新さを物語っています。

それから3年後の1958年、三宝伸銅工業株式会社の全額出資のもと、日本初のガーデンファニチャーの販売会社としてニチエスが生まれました。屋外家具を売る会社ではなく、より豊かなライフスタイルを提案する会社でありたい。JOY OF OUTDOOR LIVINGのDNAはこの時から始まったのです。

